

令和5年度（2023年度）専攻医募集定員について

医師・看護人材確保対策課

【ご意見を伺いたい内容】

日本専門医機構が定める専攻医の募集定員は、研修の質を担保しつつ、地域偏在・診療科偏在について配慮するものとされ、厚生労働省が算定する必要医師数に基づき都道府県別診療科に対し一定のシーリングが設けられている。

この度、日本専門医機構から令和5年度の専攻医募集定員案が示され、このことに関して厚生労働省から県への意見照会があったため、県の回答案につきご意見をいただきたい。

1 日本専門医機構による令和5年度専攻医募集定員案

(1) シーリングの対象（※令和4年度と変更なし）

「2018年医師数」が「2018年の必要医師数」及び「2024年の必要医師数」と同数あるいは上回る都道府県別診療科（ただし外科、産婦人科、病理、臨床検査、救急、総合診療の6診療科は除く）

(2) 主な変更点

令和4年度までのシーリング数に上乗せする形で「特別地域連携プログラム加算」及び「子育て支援加算」が新たに設定（→詳細については、別紙1の3ページを参照）

特別地域連携プログラム加算 … 医師不足がより顕著な東北地方などの医療機関と1年以上の研修を行う連携プログラムを設定することにより加算されるもの

子育て支援加算 … 育児と仕事を両立できる職場環境が整っている医療機関で研修を行うプログラムについて、特別地域連携プログラムの設置を条件に同プログラムと同数が加算されるもの

《参考資料》 別紙1 … 2023年度専攻医シーリングについて(概要)

別紙2 … 診療科別2023年度専攻医シーリング案

2 令和5年度専攻医募集定員案に対する本県の受け止め

新たに提案のあった「特別地域連携プログラム加算」及び「子育て支援加算」は、シーリングに上乗せする形で設定されており、専攻医数が採用段階でシーリング対象都道府県において増加する点や、最終的には派遣元に戻る可能性がある点などから、医師の偏在が助長されるのではないかと懸念するところ。

また、このことについては12の医師少数県により構成される「地域医療を担う医師の確保を目指す知事の会」などにおいても同様の指摘がされている。

医師の偏在是正の観点からシーリングが設けられたことを踏まえ、以下のとおり国への回答案をしたい。

3 国への回答案

令和5年度専攻医募集定員については、シーリングに上乗せする形で「特別地域連携プログラム加算」及び「子育て支援加算」が新たに設定されており、医師の偏在が助長されるのではないかと懸念する。

医師の偏在是正の観点からシーリングが設けられた本来の趣旨に鑑み、厳格なシーリングを実施していただきたい。